



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



鹿屋 ボランティアで海岸清掃

6月23日、鹿児島県建築協会鹿屋支部青年部や鹿児島県建設業協会鹿屋支部青年部のメンバー約80人が、高須・浜田海岸の清掃作業を行いました。毎年、本格的な夏を迎える前のこの季節に行っているボランティア活動で、海岸に漂着した空き缶・ペットボトルなどのゴミ拾いのほか、大きな流木なども重機を使って綺麗に片付けを行いました。



鹿屋 長年の清掃活動に対する表彰を報告

30回を迎えた肝属川クリーン作戦に対する河川功労者表彰を受けた同作戦実行委員長の金沢幸一氏ら3人が、6月20日、市役所を表敬訪問しました。
金沢氏は「この賞を受賞できたのは協力してくれた鹿屋市民や33年前にクリーン作戦を始めた立元明光名誉会長らのお陰。この活動を40回、50回と続けていきたい」と思いを話してくれました。



7月 NHK旗で初優勝 甲子園を目指す

第56回NHK旗争奪鹿児島県選抜高校野球大会で初優勝した鹿屋中央高校の野球部員が、6月9日、市役所を表敬訪問しました。
同校は、夏の甲子園の前哨戦となる同大会決勝戦で、春の甲子園出場校である神村学園に逆転勝利。大隅に初の優勝旗をもたらしました。七島拓哉主将は「夏に向け精進を重ね甲子園を目指したい」と今後の抱負を話してくれました。



7月 ドロンコ祭りで 今年の豊作を祈願

6月17日、古前城町の鹿屋農業高校実習田で「ドロンコ祭り」が行われました。
これは田植え前のこの時期に行われている恒例行事で、今年で11回目。
生徒たちは、田んぼで旗取り競争やビーチボールを使ったラグビーなどを行い、今年の豊作を祈願するとともに、友情の絆を深めていました。



7月 牛乳をプレゼントし 消費拡大をPR

6月15日の父の日を前に、県酪農大隅支所青年女性会議のメンバーが10日、市役所を訪れ「父の日には牛乳を贈ろう」のキャンペーンが行われました。市役所1階ロビーでは、同メンバーが「地元産のおいしい牛乳をお父さんに飲ませてください」と来庁者に用意した紙パック牛乳200個をプレゼントし、地元産牛乳の消費拡大を呼びかけていました。



鹿屋 鹿屋の戦跡を巡る

6月4日、「鹿屋市戦跡巡り」が開催され、高須町・浜田町を中心とする市内の戦跡をバスで巡りました。当日は、浜田町にある海軍砲台跡から出発。笠之原飛行場周辺の地下通路司令室入口や掩体壕などを見学した後、米軍上陸の地である高須町金浜を訪れました。市内外から訪れた参加者27人は、改めて市内に残された戦跡の多さに驚いていました。



7月 ふるさとの魅力発信に貢献 「関西鹿屋会」総会

6月29日、大阪市のホテルで「第6回関西鹿屋会総会」が開催されました。
当日は、関西在住の市出身者等約110人が出席し、平成25年度の事業報告等が行われたほか、中西市長による就任のあいさつと合わせて本市の近況報告や、今後の取り組み等を紹介しました。懇親会では、アトラクションや抽選会が行われ大変盛り上がりしました。



7月 「関東地区吾平会」総会

6月8日、東京都の芝弥生会館で「第19回関東地区吾平会総会」が、関東地区在住の吾平町出身者など約80人が出席して開催されました。
総会では、来年を20回の記念総会とすることが確認されたほか、会場内では吾平町内小学校児童による「始良川河川愛護」の作文・図画作品展示や特産品等の即売も行われました。



7月 ハンセン病問題に 理解を深めて

6月30日、ハンセン病問題への正しい理解を深めることを目的に市中央公民館で「ハンセン病問題啓発講演会」が開催されました。
当日は、星塚敬愛園の後藤正道園長と同園入園者の山口シメ子氏が講演し、偏見や差別を乗り越え今を生きる大切さを訴えました。
また、市役所市民ホールでは、ハンセン病問題の歴史などを紹介したパネル展示も行われました。



串良 世界最古の花 大賀ハスが開花

今年も串良公民館前のお堀に直径20cm程の大賀ハスが淡紅色の花を咲かせ、訪れる人の目を楽しませています。このハスは、昭和26年に植物学者の大賀一郎博士が千葉市の検見川の遺跡から約2,000年前と推定される古代ハスの種を発見し、復活した花で、昭和58年に株分けし植栽されたものです。
夏の風物詩である大賀ハスは、7月中旬まで楽しめます。



鹿屋 彩の森で アジサイが咲き誇る

下高隅町にある私設の公園「彩の森」で、色とりどりのアジサイが咲き誇りました。
同公園は、串良町細山田の緑化樹生産販売業和田 俊治さんが平成22年から私有地を開墾。約3haに約2,500株のアジサイが植えられています。公園内には杉の太木で造られた東屋もあるほか、モミジや数種のサクラも植えられ四季折々の花木を楽しめます。



鹿屋 泥に足をとられながら 田植えに挑戦

6月18日、下高隅町上別府の田んぼで星幼稚園の園児81人が田植えを行いました。
これは園児たちに農業や食の大切さを学んでもらうこと、また地域農業者との交流を目的に、地元の上別府湧水友の会が毎年この時期に行っているもの。園児たちは、田んぼの泥に足をとられ泥まみれになりながらも、楽しそうに田植えを行っていました。